

日本教育メディア学会
学会通信第66号

学会ホームページ <http://jaems.jp/>

2014年2月3日発行

事務局

〒176-8534

東京都練馬区豊玉上1-26-1

武蔵大学社会学部

中橋雄研究室内

電話：03-5984-4792

E-mail：office@jaems.jp

目次

新年のご挨拶	2
論文投稿のご案内とワークショップのお知らせ	3
研究会のお知らせ	4
企画委員会ワークショップ報告	5
学会費納入のお願い、入会者・退会者	6

新年のご挨拶

第7期会長 鈴木克明（熊本大学）

会員の皆様におかれましては、つつがなく2014年をお迎えになったことと存じます。今年も本学会の活動に積極的にご参加いただき、「参加することが楽しい学会」になるよう盛り上げていただければ幸いです。

私事になりますが、今年は私が学部時代を過ごした研究室の先輩が62歳の若さで急逝したという知らせで始まりました。引き続いて、本学会でもご功績を残され、個人的にも大変お世話になった沼野一男先生が「誰にも知らせるな」という遺言で昨年3月に90歳の大往生を遂げられていたという情報をインターネット上で入手し、慰霊に献花して参りました。温故知新の思いを新たに、あとを引き継ぐ精進の決意を新たにしました年明けでした。

本学会には、いくつかの嬉しいニュースがあります。まず、学会の顔ともいえるロゴが決まりました。躍動感がある元気なデザインを理事会で選定しました。今後、学会通信やWebサイトを始め、本学会の情報発信などで活用していきます。ご愛顧ください。

また、学会誌掲載論文の公開を進めています。「教育メディア研究」全巻の書誌情報を本学会Webサイトに掲載しました。一次情報はCiNiiで順次公開されます(執筆時点で第16巻から第19巻が公開済み)。公開された論文へは、本学会Webサイトからリンクを張っていきますので、情報収集や研究にご活用ください。

本学会では、会員の皆様から学会活動についての新しいアイデアをいつも歓迎しています。会員の皆様のご意見を反映しながら、学術の発展と会員サービスの充実に今年も務めて参ります。最寄りの理事を通じて、あるいは学会事務局にお寄せください。

本年も会員の皆様にとって充実した年になりますよう、祈念いたします。

論文投稿のご案内とワークショップのお知らせ

編集委員会 国内ジャーナル担当 委員長 久保田 賢一

■投稿論文募集(第21号1巻)のお知らせ

締切：2014年2月28日(金曜日)

■ワークショップのお知らせ

日本教育メディア学会の編集委員会と企画委員会が合同で「国際連携・国内連携における教育メディア研究」ワークショップを企画しました。学校間交流、高大連携、地域社会と連携したサービスラーニング、海外と連携したフィールドワーク、産学連携、オープンコースウェアを活用した学習など、教室の枠を超えた様々な教育実践が多くみられるようになりました。このような 教室の枠を超えた実践においてメディアの活用は不可欠です。ソーシャルメディア、TV 会議システム、LMS などの様々なメディアを活用して、他大学、他の学校と連携した教育実践に関する研究について議論をしたいと思います。

来年度の特集論文のテーマを「国際連携・国内連携における教育メディア研究」とし、このワークショップでの成果を学会誌の特集論文につなげていきます。具体的には、ワークショップに青山学院大学准教授 香川秀太先生をお招きして、関連領域について学ぶ機会を設けます。本テーマに関連する研究を会員から募り、ワークショップではそれらの研究発表について議論し、特集論文として執筆していただくことを考えています。

来年度の特集論文「国際連携・国内連携における教育メディア研究」に投稿を希望する会員は、このワークショップに参加し、研究発表をしていく方向で論文の執筆を検討していただきたく思います。

このワークショップは、教育メディア研究における新しい研究アプローチを模索するためのひとつとして考えておりますので、是非、多くの方に参加していただきたく思います。また、本ワークショップは、本学会の非会員の方にも参加いただけますので、関心のある方にも声をかけてください(※ただし、論文の発表、投稿については、会員に限ります。)

日時：2014年2月8日(土曜日) 13時～17時(予定)

場所：関西大学 東京センター(予定) <http://www.kansai-u.ac.jp/tokyo/map.html>

講師：香川秀太先生(青山学院大学准教授)

定員：30名

参加費：1000円

申し込み：日本教育メディア学会ホームページより事前申し込み

担当者(問い合わせ)：日本教育メディア学会 編集委員長 久保田賢一(関西大学)

Email: edit@jaems.jp

■21巻2号特集号「国際連携・国内連携における教育メディア研究」(Vol.21, No.2)のお知らせ

締切：2014年7月31日(木曜日)

第2回研究会のお知らせ

研究委員会 国内研究会担当 委員長 浅井和行, 本企画担当 市川尚

■ テーマ 「ICT と授業設計・学習支援／一般」

ICT 分野の発展と、それに伴う日常生活への ICT 環境の浸透など、これまでにない急速な変化の中で、教育における ICT 活用はますます重要になってきています。

ICT を学習における道具あるいは基盤として、協働（協調）学習および個別学習の実現や、学習内容の多様な表現、思考過程の外化など、より学習を効果的・効率的・魅力的にするために活用していくことが期待されます。

単なる目新しさだけの導入にとどまらず、ICT の特性を踏まえながら、どのように授業で有効活用していけばよいのか、どのように学習環境を整備していけばよいのかを考える機会としたいと思います。

また、このテーマに限らず広く本学会の研究分野に関わる発表も歓迎いたします。

■ 日時：2014 年 3 月 15 日（土）13:00～16:00

■ 場所：岩手県立大学アイーナキャンパス（岩手県盛岡市）

（JR 盛岡駅西口より徒歩 5 分 岩手県民交流情報センター「アイーナ」7 階）

■ 参加費：資料代 1,000 円

■ 発表申し込み締め切り日：2014 年 1 月 31 日（金）

■ 原稿送付締め切り日：2014 年 2 月 21 日（金）

■ 懇親会のお知らせ

研究会終了後、盛岡駅前付近で簡単な懇親会を予定しております。

参加費用約 5,000 円の予定です。

■ 発表申し込み方法

1 月 31 日（金）までに Web 上のフォームからお申し込み下さい。

日本教育メディア学会会員でなくとも発表できます。

■ 原稿執筆要綱

原稿は論文集にまとめます。以下の要領に従って 2 月 21 日（金）までに送付ください。

- ・ワード形式または pdf 形式の原稿をメールで送付してください。
- ・B5 版 1 行 20 字×40 行×2 段組。枚数は 4 枚以上の偶数枚。余白は、左右・上下=23mm
- ・字体は明朝体 9 ポイント和文と英文の表題・名前・所属、要約、キーワード（5 個以内）

発表申込の際に、提出先の案内とあわせて原稿フォーマットをお送りします。

また、研究会 web ページよりダウンロードも可能です。

■ 会場担当者（お問い合わせ先）

岩手県立大学・市川尚 ichikawa@iwate-pu.ac.jp

企画委員会ワークショップ報告

12月21日土曜日、(株)内田洋行・新川本社新川第二オフィスにて、27名の参加者のもと「子ども（幼児・小学校低学年）向けメディア教材を用いた思考をはぐくむ学びと遊びのデザイン」と題した講演およびワークショップを開催しました。

今回は、幼児向けのメディア教材のデザインは、小学生向けのデザインと共通している部分が多々あると考え、デザインの原理や子どもに好まれる工夫などを共有しようと企画しました。

登壇者には、「がちゃぴんムック」「しまじろう」など幼児教育の教材開発に携わっておられるチャイルド・ラボ所長の沢井佳子氏、「ポンキッキ」「からだであそぼ」「みいつけた！」等のディレクターであり、フジテレビキッズ子育て支援事業プロデューサーの森田倫代氏、「ピッケのつくるえほん」「ピッケのつくるプレゼンテーション」などの幼児・小学生向けソフトウェアを開発されている(株)グッド・グループ代表の朝倉民枝氏をお招きしました。

沢井佳子氏からは、思考をはぐくむ遊びのデザイン要素や子どもにかかわる論理の基礎について詳細にご説明いただきました。また、「視聴覚教育メディアや教具設計において幼児の認知発達の何に留意すればよいのか？」では、表象能力を中心に、短期記憶・言語発達・動作の巧緻性、美しさの感覚、ユーモア面白さ、大人との相互作用、をあげられました。

朝倉民枝氏からは、ソフトウェア開発で気を付けたこととして「共有世界を大事に育てる、まっすぐ育てる、情報量を絞りわかりやすく」の3点をあげられました。子どもの生来の力を信じ、それを引き出す工夫が大切であるとお話がありました。

森田倫代氏には「ドラマ手法を使ったコミュニケーションワークショップ」を実施いただきました。学校現場ですぐにでも活用できるように、クラスやグループのコミュニケーションが自然と取りやすくなる事例をご紹介いただいた後に、昔話「桃太郎」の一場面をドラマ風に演じ、コミュニケーションがさらに活発になることを実感しました。

メディア教材のデザインにおいて、幼児教育と小学校教育の間で共通する点を確認できたことが成果でした。ほとんどの参加者が懇親会にも参加され、実り大きい研究会となりました。今後もこのような企画を開催していきたいと思っております。



(文責：堀田博史)

◆ 学会費納入のお願い ◆

<納入のお願い>

2013年度(2013年4月1日から2014年3月31日)の年会費(正会員7,000円、学生会員4,000円)が未納の方は、下記口座にお振り込みいただくようお願いいたします。

<送金先>

銀行名：ゆうちょ銀行 種目：普通 店番：418 店名：四一八店(ヨンイチハチ店) 口座番号：0865850 名義：日本教育メディア学会(ニホンキョウイクメディアガクカイ)
--

- ※ 振込手数料は、ご負担ください。ゆうちょ銀行口座からATMを使って納入いただく場合、手数料は無料です。
- ※ ご自身のゆうちょ銀行口座以外から振り込む場合は、振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏名」にして下さい。それが出来ない場合は振込後、事務局にメールでご連絡ください。大学事務局を通じた大学名による振り込みは、どなたの会費か判断できないため避けていただくようお願いいたします。
- ※ 過年度年会費をまとめて振り込む場合には、学会事務局にご連絡ください。
- ※ 学生会員は、学生・大学院生(社会人学生を除く)です。会費納入に併せて学生証などの証明書類を事務局宛に提出してください(スキャナ、デジタルカメラ等で取り込んだデータのメール添付でも受け付けます)。

◆ 登録情報更新のお願い ◆

本学会では、「学会通信」および重要お知らせを電子メールで会員に配信しております。また、学会論文誌「教育メディア研究」を郵送しております。これらを確実にお届けするために、学会からのメール・学会論文誌が届いていない方は、事務局までメールアドレス、お届け先住所の情報をお送りくださるよう、よろしくようお願いいたします。

入会者・退会者】※敬称略

新入会員・正会員(2名)・・・松本 有、早岡 英介

新入会員・学生会員(1名)・・・川島 佳奈

退会者・正会員(7名)・・・吉田 健太郎、毛利 美穂、佐藤 正明、戸崎 賢二、渡辺 直勇、丸山 聡、梅本 和高

会員総数 379名・16団体

名誉会員：3名

正会員：339名

学生会員：37名

団体会員：6団体

購読会員：10団体(2014年2月3日現在)

日本教育メディア学会 事務局

〒176-8534 東京都練馬区豊玉上1-26-1
武蔵大学社会学部 中橋雄研究室内
電話：03-5984-4792 E-mail：office@jaems.jp
学会ホームページ URL：<http://jaems.jp/>

広報委員会

委員長 小柳和喜雄(奈良教育大学)
副委員長 永田智子(兵庫教育大学)
副委員長 村上正行(京都外国語大学)